

表3 学習教育目標とその評価方法（電気情報工学科ーメカトロニクス工学専攻、平成27年度修了生用）

学習・教育目標	関連する基準1 (1) (a)～(h)の項目	評価方法	備考
(A) 和歌山県の地域環境、地域社会との共生に関する理解および倫理観を身につけ、公共の安全や利益に配慮したもののづくりの考え方を理解し説明できる。	(a)	日本経済論、地域と文化(本科)、現代アジア論(専攻科) 上記科目より1単位以上修得を義務づける。 各科目の修得条件はシラバスに記載	
	(b)	企業実践講座、知的財産権(本科)、技術者倫理、環境アセスメント(専攻科) 上記の科目より2単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	
(B) 社会のニーズおよび環境に配慮し、かつ与えられた制約下で、工学の基礎的な知識・技術を統合して課題を解決するデザイン能力を身に付ける。	(d2)b)、(d2)c) (e)、(h)	電気情報工学実験、卒業研究(本科)、工学特別実験、工学特別研究、創造プログラミング(専攻科) 上記の科目より創造プログラミングを除いた30単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	
(C) 自主的・継続的な学習を通じて、自己の専門分野で深い学問的知識や経験に加え、他分野にまたがる幅広い知識を身に付ける。	(c)	応用数学、電気磁気学、数値解析、情報通信、数学特論、応用物理、情報科学、情報セキュリティ、マルチメディア工学(本科)、数理工学、数理統計学、数値計算・解析法、量子力学、線形代数、物性物理、環境マネジメント(専攻科) 上記の科目より8単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	
	(d1) (d2)a)、(d2)d)、(g)	設計・システム系、情報論理系、材料・バイオ系、力学系、および社会技術系の科目群より、各系1科目合計6科目以上の単位を取得することを義務づける。 各系の科目群は別に記す。 修得条件はシラバスに記載。 各専門分野で指定された科目群より10単位以上修得のこと。各専門分野の科目群は別に記す。	
(D) 自分の考えを論理的に文章化する確かな記述力、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力、プレゼンテーション能力を身につける。	(f)	卒業研究(本科)、特別研究(専攻科) 上記の科目の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	
	(f)	英語、工業外国語、英語A、英語B(本科)、時事英語、実用英会話、テクニカルライティング ^{g)} 、工学特別ゼミナール、ビジネスコミュニケーション(専攻科) 上記の科目のうち8単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	

C-1(d1)に相当する科目

電気情報工学科	①設計・システム系科目群	電子回路(本科必修)、電子デバイス、送配電工学、発変電工学、自動制御、IC 応用回路、光エレクトロニクス、回路網理論、電気製図、電気設計、パワーエレクトロニクス、高電圧工学(本科選択)
	②情報・論理系科目群	システム設計、コンピュータグラフィックス、オペレーションシステム、データベース論(本科選択)、情報理論(専攻科選択)
	③材料・バイオ系科目群	電気材料、電子工学Ⅱ(本科必修)
	④力学系科目群	メカトロニクス(本科選択)、熱流体工学(専攻科選択)
	⑤社会技術系科目群	照明電熱、実験計画法、電気エネルギー、電気法規・電気施設管理(本科選択)、環境化学工学、環境分析、生産工学、センサー工学(専攻科選択)

C-2(d2)a)、d)、C-3(g)に相当する科目

電気情報工学科 メカトロニクス専攻	精密加工工学、信号処理理論、材料科学、パワーエレクトロニクス特論、機能材料科学、情報伝送工学、応用電子回路(専攻科選択) 工学特別ゼミナール(専攻科必修)、応用エネルギー工学、計測制御工学、インターンシップ、ロボット工学(専攻科選択)
----------------------	--